

経済財政政策部局の動き：政策の動き

「中長期の経済財政に関する試算」について

計量分析室政策企画専門職

吉村 卓也

「中期財政計画」の閣議了解と「中長期の経済財政に関する試算」の公表

本年8月8日の閣議において、「当面の財政健全化に向けた取組等について—中期財政計画—」が了解された。これは、「経済財政運営と改革の基本方針」（平成25年6月14日閣議決定）等を踏まえ、民需主導の持続的成長と財政健全化の好循環を目指しながら、財政健全化目標達成に向けた今後の取組を示したものである。具体的には、2015年度までに国・地方の基礎的財政収支の赤字の対GDP比を2010年度に比べて半減するとの目標の達成に向けて、そのために必要となる基礎的財政収支の改善額を定めるとともに、あわせて、2020年度までに国・地方の基礎的財政収支を黒字化させるとの目標に向けた取組を示している。

こうした「中期財政計画」の内容については経済財政諮問会議において審議が行われたが、その際の参考

として、2023年度までの経済や財政の展望を示した「中長期の経済財政に関する試算」が、本年8月8日にあわせて公表された。以下では、今回の試算の前提や試算結果のポイントについて紹介したい¹。

経済に関するシナリオ

本試算では、世界経済が堅調に推移する下で、日本経済再生に向けた「三本の矢」の効果が着実に発現する、「経済再生ケース」を試算している。このケースでは、図1及び2のとおり、今後10年間の平均成長率が実質2%程度、名目3%程度となるなど、日本経済の再生を通じて目指すマクロ経済の姿が実現される見込みとなっている。

また、今回の試算では、内外経済がより緩やかな成長経路となる場合に、経済財政の姿がどのようなものになるのかを示した「参考ケース」も示している。このケースでは、今後10年間の平均成長率は実質1%程度、名目2%程度という見込みとなっている。

次に財政面については、2014年度及び2015年度において「中期財政計画」を踏まえた基礎的財政収支の収支改善努力が行われることを想定して試算を行っている。さらに、消費税率の引上げについては、本年秋に経済状況等を総合的に勘案して判断を行うこととされているが、本試算における各年度の税収については、現行法に沿った増収に相当する額を織り込んでいる²。なお、2016年度以降の期間については、社会保障歳出

図1 実質成長率

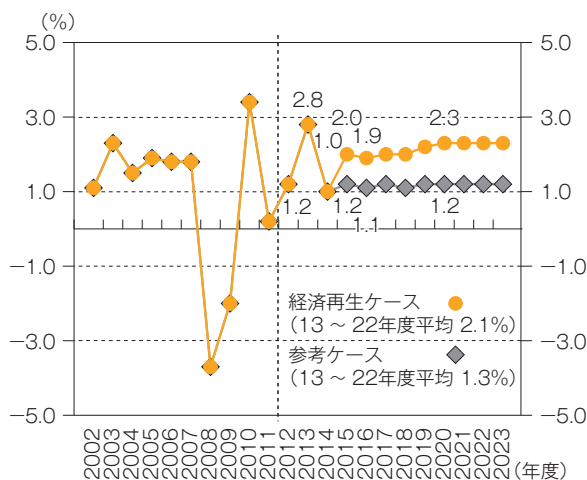
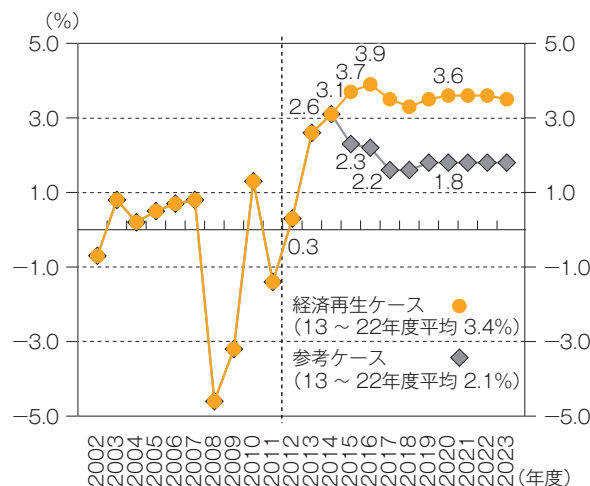
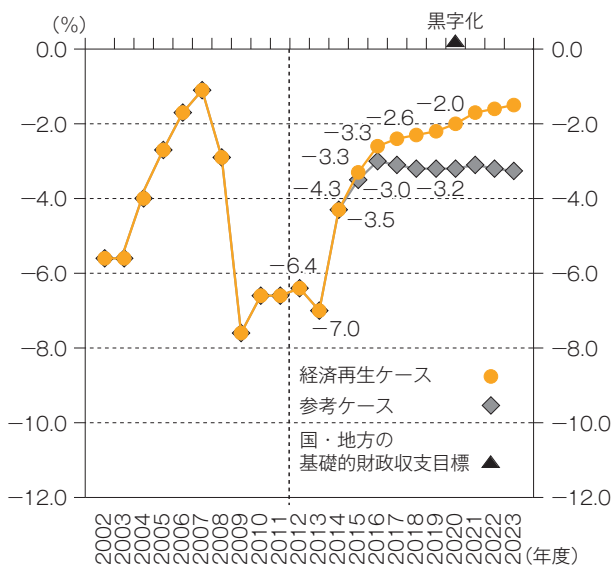


図2 名目成長率



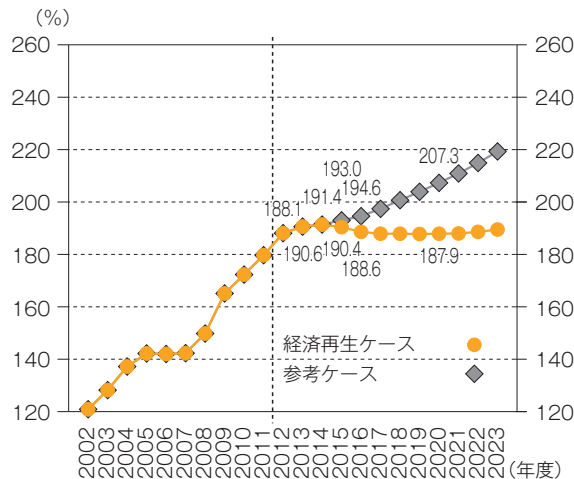
1 本試算は、経済・財政・社会保障を一体的にモデル化した計量モデル（「経済財政モデル」）を基礎として、内閣府が作成したものであり、閣議了解の対象となるものではない。なお、試算の内容は、種々の不確実性を伴うため相当な幅を持って理解される必要がある。

図3 国・地方の基礎的財政収支* (対GDP比)



*復旧・復興対策の経費及び財源の金額を除いたベース。

図4 国・地方の公債等残高* (対GDP比)



は高齢化要因等で増加、それ以外の一般歳出は物価上昇率並に増加すると想定している。

こうした想定の下での財政面の試算結果を経済再生ケースにより確認すると、国・地方の基礎的財政収支(対GDP比)は、図3のとおり、2012年度の「緊急経済対策」に伴う一時的な歳出増の剥落や、経済成長による税収の増加に加え、消費税率引上げによる税収増、「中期財政計画」を踏まえた収支改善努力により、2015年度の基礎的財政収支赤字対GDP比半減目標が達成される見込みとなっている。ただし、2020年度の基礎的財政収支は2%程度の赤字と見込まれており、黒字化目標を達成するには更なる収支改善努力が求められる。また、図4のとおり、国・地方の公債等残高(対GDP比)については、概ね横ばいで推移した後、長期的には緩やかに増加する姿となっており、安定的に低下させるためには更なる努力が必要となる。

なお、参考ケースの結果を紹介すると、2015年度の基礎的財政収支赤字対GDP比半減目標はわずかながら達成できない姿となっており、国・地方の公債等残高(対GDP比)も悪化が見込まれている。

中長期的な経済財政の展望の活用

今回、「中期財政計画」等を踏まえた、新たな経済財政の展望が示されたが、同計画では、財政健全化目標の達成に向けた取組について、半年毎に、経済と財政を展望しつつ進捗状況を確認することとされており、今後とも、日本経済再生と財政健全化の双方の実現に向けて、こうした中長期的な展望を踏まえつつ、政策運営や制度改革等を検討していくことが重要と考えられる。

吉村 卓也 (よしむら たくや)

2 本年秋季に現行法の内容と異なる判断が行われた場合には、本試算も判断の内容に沿って見直すこととなる。